



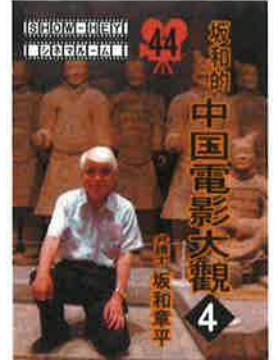
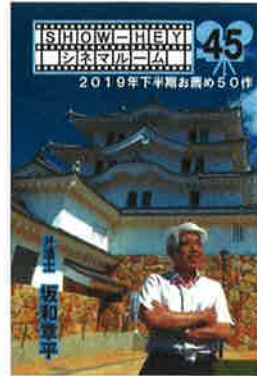
(2019(令和元)年11月14日撮影)

細谷優子 谷桂 伏尾朋子 永田ひとみ
坂和宏展弁護士 坂和章平弁護士 高島望



2017年6月の出版以降、好評発売中！
とりわけ、都市法の時代区分に注目！
(定価2,500円＋消費税)

『シネマ45』(2019年12月出版)
(定価1,200円＋消費税)
是非ご購入を！



『坂和的中国電影大観4』
(シネマルーム44)
(2019年10月出版)好評発売中！
(定価1,800円＋消費税)

新年明けましておめでとうございます！

1) 2020年11/3の大統領選挙まで1年を切ったアメリカでは、再選を目指すトランプと政権交代を目指す民主党との激しく長い戦いが始まっている。とは言っても民主党は指名候補争いの段階で、17名の男女が中道VSリベラル、ベテランVS若手に分かれて論争している。対する共和党は、「米国第1」を掲げるトランプ崇拝が根強いラストベルト地帯を中心に支持層の確保に躍起だ。胃ガンの手術直後だったため、2017年11月のヒラリーVSトランプの息詰まる開票風景を連日TVで観ていた私は、大番狂わせの結果にビックリ！あの時から、トランプの当選を予想していたフリージャーナリスト・木村太郎氏への信頼が一気に高まった。公約にしていた移民制限政策の展開、中国製品への関税強化による米中貿易戦争の開始、イスラエル・シリア・イラン・トルコ等に絡む中東政策等ともより、地球温暖化対策の国際枠組みである「パリ協定」からの正式離脱もトランプ流だが、その根強い支持とは裏腹に反発も強い。中国の習近平国家主席は2018年3月の全人代で憲法を改正して任期制を撤廃したから、トランプがそれに対抗するには少なくともあと4年間は頑張る必要がある。米国の真の経済状況はわからないが、株価が上昇していることは確か。さあ、そんなトランプの再選は？
2) 昨年10/1に建国70周年を迎えた中国は、大規模な軍事パレードで世界の度肝を抜いた。米全土を射程に収める大陸間弾道ミサイル(ICBM)「東風41」や極超音速飛翔体兵器「DF17」の真の威力は？他方、習近平が進める個人崇拝と報道やネットへの締め付けの強化は急速で、ペンス米副大統領は「比類なき監視国家」とまで決めた。
2017年10月の第19回党大会で2049年の建国100周年までを見据え、「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」を党規約に明記させた習氏が、米中貿易戦争に長期戦で臨むのは毛沢東の戦略と同じ。そのためには習思想の学習と党規律の確立が不可欠だが、記者たちに「習氏忠誠心」テストを義務づけるのは如何なもの？国賓としての来日と日中関係の改善はうれしいが、ひょっとしてこれも最悪になっている日韓関係下での長期的な国家戦略？日中の政治・外交・軍事を巡る多くの問題は未解決のままだから、安倍首相はあくまで是々非々の立場で春の日中首脳外交に臨むべきだ。

ちなみに、「反スパイ法違反」で9月に北京で拘束された北大教授が「犯行の一切を認め、後悔の念を示した」ために11/15に保釈され帰国できたのはうれしいが、ひょっとしてこれも「国賓待遇での来日」約束の見返り？
3) 『乱世備忘 僕らの兩傘運動』(16年)で描かれた2014年の兩傘運動は79日間で終息したが、昨年の香港では中国本土への犯罪人の引渡しを可能とする逃亡犯条例改正案を巡る大規模デモが続いた。市民の要求が「普通選挙の実現」を含む「五大要求」に拡大する中、林鄭月娥行政長官は改正案を正式撤回したが、収束の気配はない。また4中全会を10/31に終えた中国は香港長官の任免性見直しや法執行の強化等の統治関与を強める方向性を示している。民主派の立候補が制限された中で実施される11/24の区議会選挙を含む今後の香港情勢は？
4) 台湾では、無所属での立候補が有力視されていた鴻海精密工業の創業者、郭台銘氏と柯文哲台北市長2人が出馬を見送ったため、1月の総統選挙は、再選を目指す民主進歩党の蔡英文総統と野党・中国国民党の韓國瑜・高雄市長の一騎打ちに。急落していた蔡氏の支持率が香港の大騒動によってV字回復したのは中国にとって大皮肉だ。事実上失われようとしている香港での「一国二制度」が台湾ではなお継続できるか否かが最大の焦点。台湾の自由と民主主義は何かキープしたいものだが・・・
5) 2019年6/4が天安門事件30周年なら、11/9はベルリンの壁崩壊30周年。米ソ首脳が1989年12月に東西冷戦の終結を宣言した後は、東西ドイツの統合、チェコ・ポーランド・ハンガリー・ルーマニア等の東欧諸国の民主化が次々進んだ。しかし、現在EUの価値は大きく低下し、各国で内向き志向とポピュリズム(大衆迎合主義)が抬頭している。ドイツはもはや「EUの盟主」たる地位を失ったし、イギリスのEU離脱も時間の問題だ。
6) 2016年6月の国民投票でEUからの離脱を決めたにもかかわらず、その後も離脱派と残留派に二分して揺れ続けているイギリスでは、2019年10月末での「合意なき離脱」も辞さない主張してメイ首相の後を継いだジョンソン首相が、11/6下院を解散し、12/12投票の総選挙に踏み切った。与党、保守党が定数650の単独過半数を確保できるか否かが焦点だが、私には議会制民主主義の先進国だと思ってい

たイギリスのこの迷走は理解しがたい。2015年5月に実施した大阪都構想の是非を問う住民投票の結果を考へても、国民の真意を問う総選挙や住民投票は水もので、ふたを開けてみるまでわからない。近時、真剣に議論されている「独裁制と民主制の優劣」という視点からも、その是非を考へかつ結果を見守りたい。
7) 一強多弱体制が続く中で、安倍晋三首相は9/11に第4次安倍内閣(第2次改造)を発足させたが、菅原経産大臣と河井法務大臣の辞任問題と、萩生田文科大臣の「身の丈」発言、河野防衛大臣の「兩男」発言問題に揺れている。「辞任ドミノ」が続けばヤバイ。それは総理のトラウマだから、天皇陛下の即位を祝うパレード「祝賀御列の儀」を快晴の11/10に終えた今、そして衆議院議員の任期残が2年を切った今、念願の憲法改正に道筋を立てるためにも「追い込まれ解散」ではなく、新しい時代の方向性を示す衆議院の解散・総選挙を水面下で模索中？さらに、東京都知事の投票率が20年7/5予定と報じられる中、ひょっとして同日選挙も？年末年始はそんなシナリオもじっくり考へたい。
8) 昨年のプロ野球は予想通り(?)セ・リーグでは巨人の優勝、日本シリーズでも予想通りソフトバンクの勝利だった。想定外の阪神のCS戦出場は「あやや！」の期待を持たせたが、所詮巨人との実力差は仕方なし！？今年も失野阪神の優勝は夢のまた夢？他方、ゴルフ界の話題は、8月の全英女子オープンでの渋野日向子の優勝と10月のZOZOチャンピオンシップでのタイガー・ウッズの優勝。渋野がメジャー初優勝なら、ウッズはサム・スニードの歴代最多82勝に並ぶ43歳での快挙だ。囲碁の話は、10歳で史上最年少プロとなった仲邑菫(すみれ)の活躍と19歳で張栩名人から名人位を奪取した芝野虎丸の活躍。囲碁は将棋以上にAIの活用が進んでいるから若い人の方が有利。将棋界では99期のタイトルを誇る羽生善治が無冠になったし、囲碁界でも2度の7冠王だった井山裕太が苦戦中だ。そんな現状をみると勝負の世界の厳しさがよくわかる。囲碁も将棋も十代の活躍はうれしうが、老はともかく社と青の世代には、再び輝いてもらいたい。

2020(令和2)年元旦(2019年11月15日記)
坂和総合法律事務所
所長 弁護士 坂和 章平

事務所の近況報告～弁護士坂和章平より

＜特報！章平夫妻が朝日プラザ西天満に再引っ越し！都島物件は売却中！＞(チラシ参照)

宏展夫妻が2019年6月に天神橋3丁目の25坪の土地に3階建てを新築し、朝日プラザ西天満1201号から引っ越したため、都島区の3階建てに住んでいた章平夫妻が昨年8月、再度同マンションに引っ越した。それに伴い都島物件は現在売却中だ(チラシのとおり)。戸建居住で約15分の電動自転車通勤も悪くない。途中には帝国ホテルのフィットネスがあるから毎日帰りはそこでサウナに。そう思って15年4月に引っ越した直後の8月に直腸ガンの発見と手術。翌16年11月に胃ガンの発見と手術。大阪市立総合医療センターが近いのはラッキーだったが、とりわけ人工肛門の約半年間はつらかった。しかし、それから4年余を経過し、今やすっかり身体は元気になった。マンションと事務所は徒歩1分。広いリビングには60インチTVを3台並べ、3元中継の中で新聞を読みながら夕食をゆっくり食べる習慣も定着した。「帰り道のサウナ」ではなく「わざわざサウナ」になったが、電動自転車での往復15分を運動と考えて、毎日サウナ通いも続けている。

第1 弁護士業務

1 再開発関係

1) 岐阜市・高島屋南地区の市街地再開発事業では、地権者の一人が権利変換後の明渡しに同意しなかったため、明渡断行の仮処分を申し立て、6月に和解が成立したことは盛夏号でお知らせした。その後9月には和解に基づく明渡しが無事に実現し、工期に影響を及ぼすことなく事業を進められる運びとなった。そして10/10には安全祈願祭・起工式典が開催され、宏展弁護士が出席。2022年度の完成に向けて順調に工事が始まっている。

岐阜では、以前に再開発のコンサル会社の顧問を務めた岐阜駅東地区の市街地再開発事業に基づく24階建ての高層ビル「岐阜イーストライジング24」が2019年1月に完成したが、今回の再開発事業で建築されるビルは地上35階・地下1階建て。岐阜では、43階建ての「岐阜シティ・タワー43」、37階建ての「岐阜スカイウイング37」に次ぐ高層ビルになるとのことで、完成が楽しみだ。

2) 再開発組合の顧問を務めている和歌山市・友田町四丁目地区の市街地再開発事業は2020年2月に竣工予定。また草津市・北中西・栄町地区市街地再開発事業は2020年3月に竣工予定。したがって、どちらの工事も最終局面だが、そんな中でも最後までいろいろと対応しなければならない問題があり、その都度相談を受けて対応している。大きなトラブルに発展しないよう細かい過程をチェックしていくのも重要な業務だから、完成までしっかりフォローしていきたい。

2 交通事故関係

交通事故事件については、近畿交通共済協同組合の関係を中心に宏展弁護士が着実に処理しているが、10月には、数年ぶりに当方の主張に納得しない相手方が事務所に押しかけ、退去しないため警察の出動を要請するという事態が起きた。こういう「実力行使」を受けても一切要求に応じないのは当然で、相手方にも何のメリットもないのだが、そういうことを理解できない相手方がときどき現れるのはやむを得ない。その都度毅然と対応していきたい。

3 一般業務

交通事故事件以外の訴訟、交渉等の業務については大規模な尋問や判決といった動きが少なく、粘り強く書面の応酬を繰り返す事件が多かった。早々と竹を割ったようにきれいな和解ができる事件もあるが、こういった地道な積み重ねをしなければ解決できない事件もあるのは当然なので、事件の性質に応じて一件一件しっかり取り組んでいきたい。

第2 出版関係－新日本法規の加除式本と法律書

1 『わかりやすい都市計画法の手引』

今回は都市計画法自体の改正がなかったため、近時の都市づくりのキーワードである「コンパクトシティ」や「都市のスポンジ化対策」について、序章に「第4節 コンパクトシティ政策の展開」、「第5節 都市のスポンジ化対策の展開」「第6節 スマートシティ実現に向けての取組み」を新たに執筆。また、各条文解説部分には参考判例を追加した。これらは、追録42・43号として、1月に発行される予定だ。

2 『問答式 土地区画整理の法律実務』

今年は編集代表の大場民男先生が体調を崩され急逝されたために恒例の7月の編集会議は中止となってしまったが、11

月には追録47・48号を発行することができた。その中で私は、「土地区画整理事業における所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の活用」「スマートシティとは」等の新設問6問、その他補正23問を執筆した。

3 『Q&A 災害をめぐる法律と税務』

新設問13問、補正22問を執筆し、12月から1月にかけて追録52～55号が発行される予定だ。昨年は激甚災害法の「激甚災害」、大規模災害復興法の「非常災害」、特定非常災害特別措置法の「特定非常災害」に指定された台風19号など大規模な自然災害が発生したため、今後も執筆ネタはたくさんある。引き続き、同書の執筆を強化していきたい。

4 民事法研究会の『都市計画法の読み解き方』(仮称)

ずっと執筆が遅れている同書は、他の法律書の執筆が多いこともあって難航しているが、諦めたわけではない。既に8割は完成しているのでどこかで必ず再着手し、完成させたい。

第3 出版関係－シネマ本

1 『坂和的中国電影大観4』(『シネマ44』)を出版

『シネマ5』『シネマ17』『シネマ34』は『坂和的中国電影大観』の1、2、3として出版した。近時、私の日中友好関係の業務と人脈はどんどん拡大しているため、中国映画を語る講演も増えてきた。そんな中、『シネマ34』以降にみた中国映画58本をまとめた『シネマ44』を10月に出版した。

2 『シネマ45』を出版

年に2回の出版が恒例になっている『シネマ45』は12月に出版。そこには、『記者たち 衝撃と恐怖の真実』『バイス』や『空母いぶき』『アルキメデスの大戦』をはじめとする「2019年下半年50作」が収められている。

第4 講演

1 東京観光と東京天狼院で講演(6/26)(写真4頁)

1) 6/26(水)は9時から品川駅で山田将治さんの車に乗せてもらって東京各地を見学。①品川の泉岳寺、②1964年東京五輪の会場だった駒沢オリンピック競技場、③靖国神社(遊就館は休館)、④江戸東京博物館、⑤平将門首塚、⑥神田明神(神田神社)を回った。車での移動は便利で快適!

2) 19:30～21:00、池袋の天狼院で「日本で唯一の弁護士・映画評論家に聞く、法廷映画の楽しみ方」と題する講演を。東京映画友の会の山田将治さんのお招きで実現したこの講演会は映画ファンばかりの集まりだから、聞く意欲と熱気が最初から違う。準備していた5本の予告編の上映を含めて、充実した講演に。終了後の質問も本質的なものだったから、回答も熱を帯び盛り上がった。

2 大阪府日中友好協会・文化茶話会で講演(9/28)(写真4頁)

9/28(土)2時～4時まで、大阪府日中友好協会・文化茶話会で「坂和的中国電影論と日中交流の楽しみ方ー『シネマルーム43』と『坂和的中国電影大観4』の出版を記念してー」と題する講演を行った。2015年11/28に続く2回目だが、今回は新ネタもタップリ。その第1は、『戦狼2』『流浪地球』『三体』に代表される最新SFモノの話題。第2は、張芸謀監督の『影武者』、賈樟柯監督の『帰れない二人』、胡波監督の『象は静かに座っている』等の話題。第3は、近時私がハマっている華流TVドラマ『ミーユエ 王朝を照らす月』『独孤伽羅 皇后の願い』『花と將軍～OH MY GENERAL～』『賢后 衛子夫』『麗王別姫 花散る永遠の愛』『王女未央』の話題提供。

そして、第4は、塚本青史の『呂不韋伝 パシレウス』の話
題だ。白板のメモと無料配布したシネマ本にも注目！記念撮
影に収まった約20名の参加者はみんな大満足！

3 第37回全日本中国語スピーチコンテスト奈良県大会で
講演(10/27)(写真4頁)

1) 10/27(日)は1時~5時まで、奈良女子大学で奈良県日
中友好協会主催の第37回全日本中国語スピーチコンテスト
奈良県大会が開催され、その審査時間中に私が、「坂和の中国
語学習の極意と中国映画・中国旅行」と題する40分間の講
演を行った。テーマは、私がなぜ弁護士業務の傍ら映画評論
家活動をしているのか？私の日中友好活動のきっかけは？
その人脈の広がりや？中国映画の魅力は？等々で、最後に私
がなぜ中国語学習を始めたのかと、その極意を語り、中国語
を学ぶ若い諸君に応援のエールを送った。

2) 最初の自己紹介は、以下の中国語で！

大家好，我叫坂和章平，是大阪的律师。今天能在奈
良中文演讲比赛现场为正在学中文的各位作演讲我觉得
很高兴。

我1949年1月26日出生在爱媛县松山市。今年70
岁了。我1974年当了45年律师了，60岁开始自学中
文。我2001年开始写电影评论，《SHOW-HEY 电影房
间》已出版了45本。其中有4本《中国电影特辑》。今
天我想跟各位说说为什么我会开始学中文，以及为什么
我一边做律师的工作，一边还继续写电影评论。我总算
用汉语说到这儿，大家可能会听不明白。之后我会用日
语进行演讲。

3) 締めめの挨拶は、以下の中国語で。

感谢大家收听。如果我的演讲能够刺激各位提高学中
文的热情，我很荣幸。为了把梦想实现，各位加油，奋
勇向前！我也以汉语水平考试二级合格为目标加油。希
望我们总有一天，在各位用中文工作的现场还会再见
面。谢谢大家！

第5 毛丹青氏、李淵博、楊陽、史林麗らとの交流

1 安徽師範大学日本校友会成立大会(8/31)(写真4頁)

8/31(土)、中国人の友人・楊陽(ヤンヤン)の出身大学で
ある安徽師範大学の日本校友会(同窓会)の成立大会(設立
大会)を、私の事務所の2階で開催。上海から上海師範大学
音楽学科の教授、東京から東京福祉大学の石曉玲教授も参加
し、盛大に設立が宣言された。自己紹介の後、贈答品の授与
式、『我愛你中国』のソプラノ合唱。さらにカラオケを交えな
がら懇談し、懇親を深めた。その中で坂和奨学金の構想も発
表され、安徽師範大学建校90周年の記念の盾の授与式も行
われた。最後は、校友会の今後の発展を祈念して全員で記念
撮影。新たな坂和の日中交流と友好がこんな姿で実現でき
たことに感謝！

2 毛丹青氏・李淵博らとの交流(9/7・10/29)(写真4頁)

1) 9/7(土)、轟真屋で毛丹青さん、李淵博くん、範越ク
ンらと会食。7、8月の私は引越し作業に追われていたし、
毛さんは北京、上海を飛び回りメチャ忙しかつたため、5ヶ
月ぶりの会食だ。毛さんから『来日方長』をプレゼントして
もらった後、“某人物”を巡る来年に向けての活動予定を討議。
いつもの毛丹青流の構想力に感心しながら、全面協力する約
束を。私から張芸謀監督の『SHADOW/影武者』は必見！と報
告したところ、彼もすぐに鑑賞したらしい。李くん、範ク
ンもそれぞれの分野で立派に活動中だ。加油！加油！

2) 10/29(火)は、轟真屋で5時から毛丹青老師と2人で“あ
る企画”をじっくり打ち合わせた後、6時から李淵博くんや
史さんの会社の3人のパートナー、さらに4月から就職し社
会人になった伊東日実子等を含む10名で賑やかに会食。留
学生で日本に不動産を所有する人たちから近時の映画ネタま
で話題はさまざまに広がり、充実した議論が10時まで続い
た。次の会食まで、みんな加油！

3 史林麗さん、古婷婷さんらとの交流(9/26)(写真4頁)

四川を代表する火鍋で有名な心齋橋オーパの海底撈火鍋心
齋橋店で、史さん、クッキーら(株)合家のメンバー計10名
で会食。両親と共に香港から日本への移住を決意したとい
う新入社員の24歳の男性からは、生々しい今日の香港情勢を
聞かせてもらった。事務所からは、細谷の他、中国語学科の
学生で短期留学の経験があり、目下坂和の映画評論のパソコン
打ちをしている高島望が出席し、通訳の役割を。たらふく
食した後は、名物の“変面”を楽しみ、一緒に記念撮影も。
火鍋のみならず、若い中国人たちの大いなる事業意欲から新
たなエネルギーをタツプリ吸収することができた。太感謝了。
第6 中国語のお勉強ー中国語検定2級にチャレンジ！

60歳にして始めた中国語の勉強は真面目に続けている。
事務所だより第32号では、2級検定へのチャレンジを公言
し、18年11/25の試験は「合格レベル確認のため」と位置づ
け19年6/23に照準を合わせたけど、やはり2級の壁は高くか
つ厚い。棄権せず受験しただけマシだったが、とりわけヒア
リング不足を痛感させられた。そのため、19年11/24の第9
9回検定はパスしたが、71歳になる2020年の3月、6月、
11月にはホントの合格を目指した受験ができるかどうか
が問われている。そのためはとにかくヒアリングを強化！

第7 中国語版『坂和章平の映画評論サイト』の開設

李淵博クンの会社に委託して作業を進めてもらっている電
子サイトによる「中国語版映画サイト」の開設は予定より遅
れているが、着実に進んでいる。中国は日本以上に電子サイ
トの利活用が進んでいるので、紙媒体とは別に私が書いた中
国映画の評論サイトが完成すれば、きっと読者層は広がるは
ず。そんな期待を胸に、その完成を楽しみにしたい。

弁護士坂和宏展の抱負と決意

1 近況

6月に天神橋三丁目の新居での生活を開始してから半年が
経ちました。幸い、建築紛争事件で見聞きするような瑕疵も
発見されず、快適な生活を送っています。事務所至近の朝日
プラザと比べれば少し事務所が遠くなりましたが、それでも
自転車ですら5分少々距離ですので、引き続き、夕方6時には
子どもの保育園のお迎えに行き、一度帰宅して食事等をした
後に事務所に戻り仕事をするという生活が続いています。

2 弁護士業務の執務状況

こうした状況の中、訴訟や示談交渉といった弁護士業務に
ついては、引き続き、私が中心となって処理していますが、
1件1件の事件について法律構成や書面の書き方を工夫し、
事件の「スジ」を読んでできるだけ早く解決するという事件
処理の技術もさることながら、日々の業務をどのような手順
で処理するのが合理的かを考え、全体として同じ時間内で多
くの事件をこなせるようにしなければならないという思いを
強くしています。司法界はいまだにファックスが業務の中心
を占めるなど合理化が遅れているなどと批判されていますが、
遅ればせながら我が国でも再来年(2021年度)には民事
裁判のIT化に向けた書面のオンライン提出等が開始される
と言われています。パソコン、デジカメ、ケータイ、スマホ
といった、当時は最先端だった道具類も今やすっかり誰にも
馴染みのツールになりました。私もこうしたツールを使う
ことにかけては積極的に取り組んできたつもりですが、道具
を使いこなすためのカギは「最後は人」ですから、事務局に
対する指示の仕方や依頼者とのコミュニケーションのやり方
等、自分自身の意識の持ち方から考えていきたいと思います。

3 2020年の目標

子どもも4歳になり、新居での生活にも慣れてきて、生活
の面ではある程度安定してきたと感じています。今年は、ま
だ具体的な目標はありませんが、これまでの生活を見直し、
やめることはやめ、新しいことにチャレンジしていこうかと
思っています。

山田将治さんと東京観光 (6/26) (本文2頁)



品川の泉岳寺

江戸東京博物館



駒沢オリンピック競技場

靖国神社

平将門首塚

神田明神(神田神社)

東京天狼院で講演 (6/26) (本文2頁)

大阪府日中友好協会・文化茶話会で講演(9/28) (本文2頁)



聴き手の山田将治さんと

講演終了後、山田将治さん、飯田慧さんと3人で

講演の様子

全員で記念撮影

安徽師範大学日本校友会成立大会 (8/31) (本文3頁)

毛丹青氏・李淵博くんらとの交流 (9/7、10/29) (本文3頁)



9/7 鼎頂屋で食事会

10/29 鼎頂屋で食事会

第37回全日本中国語スピーチコンテスト 奈良県大会
で講演 (10/27) (本文3頁)

史林麗さん、古婷婷さんらとの交流 (9/26) (本文3頁)



心齋橋オーパの海底撈火鍋心齋橋店で

近畿交通共済協同組合と宏展弁護士の新居で天神祭パーティー (7/26) (本文6頁)



苫小牧でゴルフ (8/3・4、10/6) (本文6頁)

第2回三都サミットを開催 (8/17) (本文6頁)



8/4 千歳空港 C.C.

10/6 北海道 G.C.

難波の中華料理店「柏林苑」

食後はカラオケ店へ

愛光9期囲碁会・飲み会 (7/8、8/14、9/11、10/9、11/13) (本文6頁)



7/8 (轟頂屋座敷)

8/14 (坂和事務所4階)

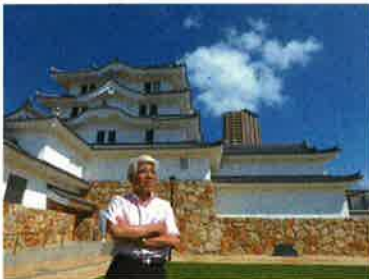
9/11 (坂和事務所4階)

10/9 (轟頂屋玄関)

11/13 (轟頂屋座敷)

尼崎城を見学(9/16) (本文6頁)

山田将治さんと埼玉観光・SKIP シティ彩の国とNHKアーカイブス見学 (11/4・5) (本文6頁)



安くておいしい焼き肉店「大福園」で夕食

NHKアーカイブスにてどーもくとツーショット



SKIPシティ彩の国で「映画のはじまり ワンダーランド展」を観賞

沖縄旅行 (11/17~19) (本文6頁) (旅行記の詳細は坂和事務所のHPで)



首里城入口の守礼門

ひめゆり平和祈念資料館

旧海軍司令部壕

ライブ居酒屋

福州園の中

近畿交通共済協同組合と宏展弁護士の新居で 天神祭パーティー (7/26) (写真5頁)

7/26 (金) は、宏展弁護士の天神橋3丁目の新居に近畿交通共済の担当者約30名が集まって新築祝いを兼ねた天神祭パーティーを挙げる。リビング、台所、座敷、屋上等に分散せざるをえなかったが、簡単な料理とビール、酎ハイで楽しく懇談。2020年の天神祭パーティーは、章平が引っ越した、事務所から徒歩1分の元のマンションでやりたい。

苫小牧でゴルフ (8/3・4、10/6) (写真5頁)

1) 8/3 (土)・4 (日) は、日本列島全体が猛暑でうだる中、苫小牧の樽前C.C.と千歳空港C.C.で連チャンゴルフ。夕方は苫小牧港まつりを見学し、夜中は全英女子ゴルフで彗星の如く登場した20歳の洪野日向子の活躍に熱い応援を送った。おかげで睡眠不足だったが、スコアは両日ともまずまず。

2) 続いて10/6 (日) は苫小牧での経営戦略会議を兼ねて、台風の間となった快晴の空の下、苫小牧の北海道G.C.で今年最後のゴルフを楽しんだ。プレイもスコアも散々だったが、ゴルフはそれ以上に親睦が大事。会食では顧問会社の経営戦略について議論。経営にはいろいろと苦しいところもあるが、これから長い冬が続く中、来年の5月の株主総会までしっかり乗り切ってもらいたい。顧問会計士の久々の好プレイと好スコアに驚くとともに大拍手!

第2回三都サミットを開催 (8/17) (写真5頁)

8/17 (土)、第2回の大阪・京都・奈良の「三都サミット」を開催。前回の松村信人氏は欠席したが、新たに嵯峨美術大学で『帝都物語』助監督の安齋レオ氏と、大和まほろば情報研究所所長で聖書とユダヤ人問題に詳しい部田 (とりた) 哲雄氏が参加。日本の古代史を絡めて「日本人の祖先はユダヤから」というテーマの議論が炸裂し、何とも刺激的なサミットになった。その後は4名でカラオケを熱唱。さまざまな分野のプロが次々と引き起こす化学反応に期待! これぞ熟練者たちの成せる技と誇りにしながら、一層勉強を続けたい。第3回は11/30に開催予定だ。

愛光9期囲碁会・飲み会 (7/8、8/14、9/11、10/9、11/13) (写真5頁)

1) 愛光関西9期会定例の囲碁会を7/8 (月) に5人で開催。亀井は一人で二面を打ち、終局後は丁寧な指導も。懇親会には2名が加わり、いつも通り、テーマがあちこちに飛び回り、不規則発言に満ちた宴会ながら、楽しい会話を続けた。

2) 8/14 (水) は同期の皆見一夫弁護士と、その友人で大阪みなと中央病院の副院長である森本芳和医師が初参加。

3) 9/11 (水) は亀井、二宮、喜安、井上、坂和の5名で、ビール片手に和気あいあいと熱戦を展開! 坂和は4子で亀井師匠の大石を“殺す”ことに成功し、勝てるかも? と思ったが、そこは実力の差、きっちり逆転された。この悔しさをバネにさらに精進しなければ!

4) 10/9 (水) は常連の6名の他、友人の矢島正孝弁護士 (28期) も初参加し、2目のハンディをもらった坂和と1勝1敗の熱戦を展開。轟頂屋での会食は6名で。

5) 11/13 (水) は翌日のゴルフ会の参加を兼ねて東京から仙波が出席し、亀井と4子で2時間の熱戦。一目差の結果に「筋が良い」とお褒めの言葉を。喜安、二宮、坂和より実力は少し上らしい。また、矢島弁護士も参加し、坂和と2子で熱戦。12/11 (水) は忘年会を兼ねて、更なる好勝負を期待!

表紙撮影を兼ねて尼崎城を見学 (9/16) (写真5頁)

9/16 (祝) は快晴 (残暑?) の中、シネマ本の表紙撮影を兼ねて尼崎城の見学へ。これは、旧ミドリ電化の創業者が12億円の私費を投じて「再建」した尼崎城天守を市に寄付し、3月から一般公開が始まったもの。阪神尼崎駅の電線と同居

する美しい天守閣はお見事。500円の入場料はチト高いが、城内でのイベントはなかなかのものだ。この時の写真をシネマ本の表紙紙に活用。見事なモデルぶりは『シネマ45』で!

山田将治さんと埼玉観光・SKIPシティ彩の国と NHKアーカイブス見学 (11/4・5) (写真5頁)

1) 11/4 (祝) は、映画友達の山田将治さんの車で、埼玉県川口市にあるSKIPシティ彩の国とNHKアーカイブスを見学。SKIPシティ彩の国では、リュミエール兄弟を中心に「映画のはじまり ワンダーランド展」で見聞を広め、NHKアーカイブスでは過去のNHK大河ドラマを少しだけチェック。5時からホテル京阪浅草のすぐ近くにある、TVで知った、安くておいしい焼き肉店「大福園」で若手2人を交えて夕食。若い2人の食欲はすごい。更にその後は、90分間カラオケで歌いまくった。

2) 11/5 (火) は、午前中、台東区駒形1-5-6にある公益社団法人大阪府日中友好協会本部を訪問。機関紙『日本と中国』への私の映画評論の連載でお世話になっている広報部長の吉田雅英氏と広報部の小金澤真理さんに挨拶。夕方居酒屋・北海道で吉田氏と2人で会食し、さまざまな情報交換。これからも時々訪問することになりそうだ。

沖縄旅行 (11/17~19) (写真5頁)

1) 中国の江蘇省・無錫から日本に留学してきた徐潮さんと知り合ったのは、2012年8月に上海で開催されたブックフェアに毛丹青氏と共に参加した時。雑誌『知日』の出版で大人気になった毛丹青氏のブースは黒山の人だかりとなり、サインを求める長い列ができていた。そこに並んでいた1人が彼女だが、ひょんな縁で話し込み日本留学への熱意を感じ取る中、私は即座にその応援を決意した。翌年4月に来阪し、事務所のすぐ近くにある日中語学専門学院に入学したが、その手続や住居の世話はすべて私の役割だった。そんな環境下での彼女の懸命の努力によって、次のステップは15年の早稲田大学大学院への入学。更に卒業後の17年10月には沖縄タイムス社に入社し、新聞記者のキャリアを開始させた。

2) 沖縄は旅行体験のない近くて遠い地だったが、彼女の就職を契機として是非一度は! ずっとそう考え2泊3日の沖縄旅行を決めたが、何と10/31には沖縄が誇る世界遺産・首里城が一夜にして炎上、消失してしまった。まあそれも1つの運、そして天命。そんな気持ちで、1日目は守礼門と焼け落ちた首里城を見学、夕方は国際通りを端から端まで歩いた。2日目は南部戦跡巡りで、①旧海軍司令部壕②ひめゆりの塔と資料館③平和祈念公園を見学。圧巻は④糸数アブラガマだった。あえて真っ暗にしているガマ (洞窟) を懐中電灯1つで恐る恐る歩く中、ガイドから当時の生々しい状況説明が。こりゃ人生初の恐怖体験に! 帰りは普天間基地まで足を伸ばしてオスプレイを見学。6時から女性3人グループ・ネーネーズの熱唱をライブ居酒屋で。3日目は福州園と市立博物館を見学して帰路へ。その詳細は坂和事務所のHPで。

坂和章平とすばらしき人たち~交友録 その23~ 中島崇夫氏 (写真5頁)

2/2 の関西日中平和友好会の新春祝賀会で行った「坂和的中国映画の楽しみ方」と題する講演を契機に始まったのが、奈良県日中友好協会・理事の中島崇夫氏との交流。元株式会社エースの幹部として中国の上海で働いた経験を持つ彼の人脈は広いうえ、卑弥呼を中心とする日本古代史観に関する知識は深い。私の映画評論を高く評価してくれた彼のお世話で「三都サミット」が発足したから面白い。更に彼の尽力により10/27の第37回全日本中国語スピーチコンテスト奈良県大会では、私の「坂和的中国語学習の極意と中国映画・中国旅行」と題する講演が実現し、そこで私は中国語でご挨拶をした。11/30の第3回サミットが楽しみだし、その後も更に広く面白い人脈が広がることを期待したい。

＜アカデミー賞主演男優賞はこの男で決まり！？＞

『JOKER ジョーカー』

スーパーマン、バットマン、スパイダーマン。私はそんな「アメコミ」はとうの昔に卒業したが、なぜかベネチア国際映画祭はアメコミの悪役ジョーカーの誕生秘話を描いた本作に金獅子賞を！これには全世界がビックリだ。笑いの仮面を被り社会の底辺に生きる男ジョーカーは“笑い病”だと告白するが、それってホント？“発達障害”と同じように笑い病にも治療が必要なの？いや、そんな男には治療よりも銃を持たせた方が自信につながるらしい。しかして、「負け組」の彼が行う「勝ち組」に対する報復は？『バットマン・ビギンズ』(05年)も『フッド ザ・ビギニング』(18年)もヒーローの誕生秘話だが、「ジョーカー・ビギンズ」の秘話はホアキン・フェニックスの熱演もあってかなり恐い。しかし、そのラストは説得力十分で感動的だ。すると、2月のアカデミー賞主演男優賞は、この男で決まり！？

＜日仏2大女優比較＞

吉永小百合は1945年3月13日生まれ、カトリーヌ・ドヌーヴは1943年10月22日生まれ。八千草薫は88歳で逝去したが、今なお現役バリバリで日仏を代表する2大女優が同時期に登場！一方は本来悲しいドラマだが、単純明快で元気が出るもの。他方はいかにもフランス映画らしくクソ難しく正解は示されず、わかったようなわからないようなもの。共演が天海祐希とジュリエット・ビノシュという点にも注目！

①『最高の人生の見つけ方』(犬童一心監督)

ガン告知、余命数ヶ月宣告を受けた70歳の専業主婦と51歳の女社長が偶然出会い、「棺おけリスト」に沿って「私が死ぬまでにやりたいこと」を続々と実行！2大俳優が演じたハリウッド版の邦画化だが、女優化したのがミソ。ラストには意外に大きな感動が！

②『真実』(是枝裕和監督)

「真実」と題する自伝本を出版した大女優は、今もパリで『母の記憶』を撮影中。自伝の中では「小さな娘を学校まで迎えに行った」等々のウソ八百を。これにはアメリカからやってきた娘もおかんむりだ。また、自伝ではライバルで親友だった“ある女優”についてどのように書かれているの？それを巡る母娘の確執と対立が激化したが、“ある秘密”が打ち明けられる中、2人は対立から和解へ。しかして、本作が示す“真実”とは？

＜正月映画は『男はつらいよ』で決まり！＞

1969年に第1作が公開された『男はつらいよ』シリーズは、昭和を象徴する日本の風物詩の1つ。それが、50年後の今、『男はつらいよ 50 お帰り 寅さん』として見事に復活！主役は吉岡秀隆演じる、寅さん最愛の甥っ子・諏訪満男。ゴクミこと後藤久美子が演じる初恋の女性との思いがけない再会の中、浅丘ルリ子扮するリリーも登場する物語は、さすが山田洋次脚本だ。さらに、スクリーン上に満男の回想シーンで登場するお馴染みの風貌の寅さんと出会い、過去の49作に登場した数多くの美女マドンナたちと再会していると、思わず大粒の涙が。2020年のお正月映画はこれで決まり！

＜アクション比較＞

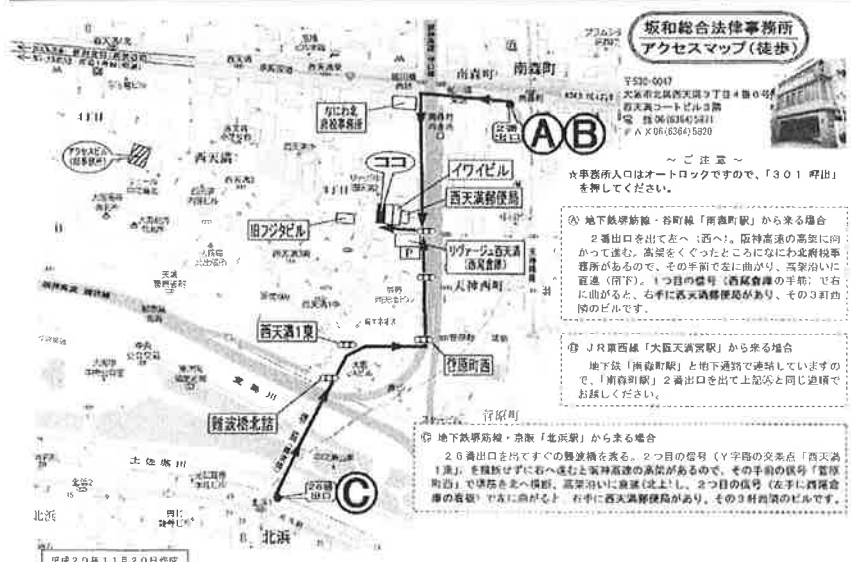
あなたは、ブルース・リーとジャッキー・チェン、どちらのアクションが好き？『007』シリーズのジェームス・ボンド、『ボーン』シリーズのマット・デイモンどちらがが好き？しかして直近では、キアヌ・リーブスとウィル・スミスのアクション比較を！

①『ジョン・ウィック：パラベラム』(シリーズ第3作)

第1作でキアヌ・リーブスが見せた新たな柔術「ガン・フー」が好評だったため、シリーズ化が実現！第3作では「カー・フー」「ナイ・フー」「馬フー」「犬フー」を魅せると共に、ロシアンマフィアではなく“主席連合”を相手に一匹狼が大暴れ！CGを排し、肉弾アクションに徹したのは『チョコレート・ファイター』(08年)のジージャー・ヤーニンと同じだが、俳優の年齢を考えると超スゴイ！ハル・ベリーとの共演(共闘)もステキだから、こりゃ必見！

②『ジェミニマン』

『ライフ・オブ・パイ/トラと漂流した227日』(12年)でCG合成のベンガル虎と人間との共存を描いたアン・リー監督が、本作ではウィル・スミス本人とCG合成で作った23歳のウィル・スミスを直接対決！注目はその映像技術と映像美だが、観客にそこまでわかる？それが問題だ。前半は父子の対決アクションに注目だが、後半はクローン兵士を作り出す組織ジェミニマンの可否に。米国の若者がなぜ他国の戦争で死ぬの？それならクローン部隊を送り込めばいいのでは？近時ドローンや無人機攻撃が常態化している中、映画上の論点は既にそこまで進化中だ。すると、アクション比較を越えて映画史上では米中戦争の予測まで・・・？



◆ 業務時間 ◆

平日 午前9時～午後6時
土曜日 午前9時～午後3時
(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

- * 相談に来られる際は日時の予約をさせていただき、関係資料を一式持参して下さい。
- * また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにていただければ幸いです。
- * お車で来られる方はアクセスマップ(車・タクシー用)を参照して下さい。

事務所のホームページ
<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/sub1-3-2007chizu.pdf>
から印刷して下さい。お電話をいただきましたらFAXします。

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

<まちづくり本、法律書>



(96年5月) (01年6月) (03年9月) (04年11月) (05年4月) (07年7月) (08年4月) (15年11月) (17年6月)

<実況中継シリーズ全4冊>



(03年7月) (12年4月) (00年7月) (02年9月) (04年6月) (06年9月)

<その他の著書>



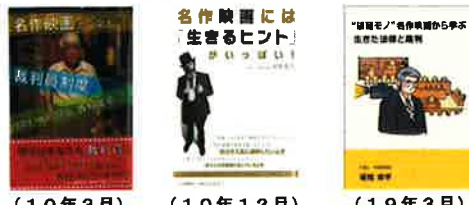
(04年5月) (05年10月)

<コラム集>



(05年8月) (13年12月)

<名作映画シリーズ>



(10年3月) (10年12月) (19年3月)

<中国語の著書>



(09年8月) (12年8月)

<『シネマルーム』シリーズ全45巻>

